

平成21年度

峡東教育事務所 学校教育担当情報誌

はぐくみ

平成22年1月28日発行 (NO. 10)

小・中連携により大きな成果が ～塩山北中学校区の取組から～

文科省・県教委「ふるさとやまなし道徳教育推進事業」指定校の塩山北中学校、玉宮小学校、神金小学校、大藤小学校の先生方には、3年間にわたり、小・中学校の連携を通しながら、子どもたちの豊かな心をはぐくむ道徳教育の実践研究にご努力いただきました。(H21. 10. 27授業公開)

先々週13日、4校の先生方が一同に会し、これまでの研究の総括を行う研究会がありました。そこでは、4校の連携による多様な成果が出されていました。

「保・幼」、「小・中」、「中・高」など、連携のより一層の強化が叫ばれるなか、塩山北中学校区でも小・中学校の子どもたちや教職員が連携しあうことで、今まで以上の成果が得られたと伺っています。紙面の関係から一部とはなりますが、「道徳の授業」と「道徳実践活動」の両面から、4校による小・中連携による成果にしばり掲載させていただきます。

☆「道徳の授業研究」の成果

- 9年間を見通した道徳の指導計画・学習プランを作成したしたことにより、小・中学校のつながりも意識することができた。
- めざす子ども像を明らかにし3つの柱立てをしたことで、3校の小学校の子どもたちが同一歩調で道徳の価値項目を学習していった。また、中学校でのより効果的な指導につなげていった。
- 4校が連携することで、共通理解のもと教職員の意識が一段と高まった。また、保護者や地域の方々にも密接な働きかけをすることができた。

☆「道徳実践活動」の成果

- ミニ児生連などで話し合い、標語・清掃・アルミ缶あつめ・花作りなどに共に取り組むことができた。
特に、アルミ缶回収活動は、同じ目標に向けた活動としてよかった。
- 地域の方々にも道徳に対する意識をもていただいた。
- 4校の合同の取組では、家庭に働きかけたことも効果的で、子どもたちも真面目に取り組み、よい成果があがった。

来年度の全国学力・学習状況調査から

来年度の全国学力・学習状況調査については、国の事業仕分けで、「縮小」となり、抽出調査と希望利用方式で実施されます。希望利用については、それぞれの市で対応が異なっております。実施日は4月20日（火）です。

主な学校教育関係の予定

- ・ 2 / 5（金） 初任者研修閉講式
- ・ 2 / 9（火） 峡東地区学校評価推進協議会（山梨市民会館）14：45～
- ・ 2 / 16（火） 県学校教育指導重点説明会（総合教育センター）

◎要請による学校訪問（校内研究会）

2月の要請は以下の通りです。

2月3日（水） 東山梨教育協議会小学校体育科部会
6年「体づくり運動」授業研究及び研究会（勝沼小学校）
《指導助言者 スポーツ健康課 樋川指導主事》

スクールソーシャルワーカーの活動から

教育事務所所属のスクールソーシャルワーカー・横森三男先生、須田貴子先生には、これまで、主として家庭環境の悪化等に起因したケースの相談に、精力的に関わってきていただいています。本年度は、春先に、巡回学校訪問をさせていただいたことで、ケースへの対応が大変スムーズに行うことができたと思っています。

重い課題を背負っている相談が多く、全面解決というところまではいっていないのが現状ですが、ケース会議等で共通理解しあい一歩前進させていこうとするそれぞれの取組により、「子どもの表情が変わった」「学校に行き始めている」など、うれしい成果も聞かれます。1月までをしめくくり、お二人の本年度の活動内容を振り返ってみました。

- 学校訪問 全52校 のべ106回
【昨年度と比べ2.7倍の訪問回数】
- 対応ケース数 のべ149ケース *実件数34
【昨年度と比べ、のべケースは3.5倍、実件数は1.8倍の件数】
- 連携した関係機関として
 - ・ 児童相談所 ・ 保健所 ・ 市教委（ひまわり相談室など）
 - ・ 石和こすもす教室 ・ 病院小児科医 ・ 精神保健福祉センター